

夢・目標をもち瞳かがやく平川っ子の育成

平川中 美・礼・時

志を支え才を育む愛があふれた学校をめざして

大杉だより

Mail : hira-j@yamaguchi-ygc.ed.jp

URL : https://www.yamaguchi-ygc.ed.jp/hira-j

☎ 924-7700

NO 5 / 9月号

2学期が始まりました。3年生ではすでに8月26日(月)から授業は行っています。一部でケガや指導が必要な事案はありましたが、始業式では、生徒の元気な姿を見ることができて安心しています。エアコンも全教室に設置されましたので、これまで以上に学習環境が良くなりました。

ところで、今夏も異常な暑さ、災害による被害が多く発生しました。被災された方にはお悔やみ申し上げますとともに、心の教育や危機管理体制など、改めて現代という時代に応じた学校教育を考えさせられる夏でした。



◎ 山口県選手権大会の結果 ◎

山口市の代表として、中国大会や全国大会を夢見て健闘しました。県内最大のこの大会において成果を発揮した部および個人もありましたのでお知らせします。

水泳部 (7月25日26日 きらら公園プール) :

末兼一輝 100M 平泳ぎ・200M 平泳ぎとも第1位 (中国大会進出)

男子リレーチーム 400M フリーリレー第3位

◎ 中国水泳選手権大会の結果 ◎

末兼一輝 100M 平泳ぎ 第5位・200M 平泳ぎ 第4位

◎ 市内秋季大会 (兼秋季県体予選) の結果 ◎

多くの部にとって3年生の引退をかけた試合になりました。秋季県体(10月5日6日)出場権を得た部もありましたが、引退となる部については、3年生に「お疲れさま、頑張ったよね。」と言いたいと思います。

男子ソフトテニス部 : 団体第3位 個人(村中・友景)第2位 (宗久・原田)第3位

女子ソフトテニス部 : 団体第3位

男子バドミントン部 : 団体第2位 個人(山本)第1位(大谷)第3位
(杉山・村田)第1位 (稲田・木村)第3位

女子バドミントン部 : 団体第3位 個人(安本・岡部)第1位 (村上・城戸)第3位

水泳部 : 男子団体第2位 個人(末兼)100平200平第1位 (鍵田凜)50自第1位100バタ第3位 (末兼×室岡×鍵田陸×横沼)400リレー第1位 (末兼×鍵田陸×横沼×室岡)400メドリレー第1位 (横沼)100自100バタ第2位 (室岡)200メド第3位

(鍵田陸)200平第3位

陸上競技部 : (大森)800M1500M第3位 (宮家)100M第3位

以上秋季県体出場の部活動

女子バスケットボール部 : 第3位

◎ 秋季県大会 (水泳) の結果 ◎

水泳競技の秋季県大会は8月22日23日に開催されましたので、先に3位内入賞した結果についてお知らせします。なお、この学校だよりでは3位内を顕彰していますが、学校はその選手だけを評価しているわけではありません。3位内には入れなくても、一生懸命自分に挑戦し乗り越える君たちの姿を評価し応援しています。

末兼一輝 200M 自由第1位 200M 個人メドレー第1位

◎ 文化的コンクールの結果 ◎

私(校長)は国語教員ですし、過去作文コンクールなどに多く挑戦させてきた経験もありますので、平川中学校が運動部だけでなく文化部や文化部門が活性化すればいいと考えています。コツをつかめば、(運動部で全国大会で活躍するのは大変な段階を経なければいけません)コンクールは多いですから、ボンと全国優秀賞などを獲得し表彰式で東京御招待ということだって不可能ではありません。誰かが達成してしまうと、次から次へと達成していくものです。

平川中学校の生徒数なら、そんな資質を持った生徒もいると思うのです。最初は全く入賞などしなくてもいいではありませんか。あり得ないものだ・興味がないものだと考えるのは、とてももったいない気がします。

山口県学校合奏コンクール

吹奏楽部門銀賞

全日本吹奏楽コンクール山口県大会

A部門銅賞

防府天満宮御誕辰祭清書展

特選(永久日菜) 優良(石崎海音)

入選(山下輝・平田和)

また夏休みの宿題等で提出した作品などの審査が、今後行われます。たくさん入賞し、生徒諸君が自信をもって学ぶことができるようになればと願っています。

◎ おおすぎ塾について ◎

8月5日(月)、26日(月)、27日(火)【6日(火)、28日(水)は荒天のため中止】

に、補習教室「おおすぎ塾」を開催しました。今回は、山口大学生、西京高校生、地域住民の方々にご協力いただき、3日間の参加生徒の延べ人数69名に対し、延べ人数79名のサポーターによる学習支援をしていただきました。生徒は、「マンツーマンだったので、すぐに教えてもらったので、とても勉強になったし楽しかった。」「分からないところを一生懸命教えてくれてうれしかった。分からないところが分かるようになった。」などの感想をもちました。



◎ 白河踊り・平川地区盆踊り大会について ◎

8月10日(土)に平川小学校グラウンドで平川地区民盆踊り大会が開催されました。生徒は運営ボランティアとしてお手伝いをしたり、7月17日(水)に教えていただいた白河踊りを披露したりすることで、地域のイベントを盛り上げました。



本校では年間を通してふるさと平川を体感し愛する心を育み、もって人を大事にする 気持ちを伸ばすことを目的に、地域学習やコミュニティ・スクールを推進しています。

地域の方が講師として生徒を指導してくださる活動や、生徒が積極的に地域の行事でボランティア活動する姿を見ていると、頼もしくうれしく感じ、また感謝の思いで一杯になります。

◎ 第30回体育祭(9月7日)の成果 ◎

8:55 入場行進 開会式 準備体操(ラベンダー体操) 女子徒競走 「センターは誰にも渡さない！」 男子徒競走 「ゴールが俺を呼んでいる」 男女障害物走 「越えろ!5つの壁」 3年ダンス 「Good Time」	11:10 応援合戦 昼食・休憩 12:30 部活行進 PTA玉入れ 女子騎馬戦 「熱血 girls」 男子騎馬戦 「燃え上がれ!新時代の戦士たち」 選抜リレー 「ファイナルバトル」
10:15 1年団体種目 「平川の魂ここに宿る!」 2年団体種目 「平川オリンピック2019」 3年団体種目 「KIMINONAWA」	14:15 閉会式 総合優勝:緑組 応援優勝:白組

台風の影響や雨が心配された体育祭。時折強い風や砂ぼこりもありましたが、雨はなく、気温的には活動しやすい1日となりました。

私の率直な感想で言えば、本当に気持ちのいい、うれしくなる体育祭でした。「無限～新時代へ do our best!～」のスローガンのもと、**生徒は元気よく、はつらつと、ひたむきに躍動しました。**

「徒競走・障害物走」では**あきらめない頑張り**が、「応援合戦」では全員の**主体性や完成に向けての協力性**が、「学年団体種目」では**協働精神や素直な喜びの表現**が印象に残りました。**やはり、一生懸命って、楽しいんですね。**

そして見る人の心を動かすんですね。

体育祭は終わりましたが、これからの日常生活(学習活動)でも、一生懸命が楽しくなる、そんな日々になることを祈っています。これからも頑張り平川中生!

また、御来観くださった保護者、地域、来賓の皆様、こころよりお礼申し上げます。ありがとうございました。



◎ 燃えろ!平川中生 ◎

今からもう30年以上昔、私(校長)が教員になった頃に注目された本(『アメリカの心』)にあった一節です。私は担任のときは、ずっとこれを掲示してきました。

現在の平川中生にこそ、この一節を贈りたいと思います。

平川中生には、まだまだ可能正が秘められていると思うからです。

「望みが高ければ 退屈しない」

私たちの天然資源の中で最大の無駄は自分の可能性を使い切れないでいる たくさんの人たちだ。



今すぐその低速レーンから降りろ。
あの高速レーンに乗り換えるのだ。
君がもし それを無理だと思えば君はそれをしないだろう。
**もし 出来ると思ったら、君がそうするチャンスは多い
やってみようがんばるだけでも
君は新しい人間になったような気分になるはずだ。**

名声は出来そうにもないことを探し出してやってみる、
その時に生まれるものだ。

**低い望み 退屈至極。
高い望み 壮快至極。**

全国学力調査および前期学校評価アンケート結果について

— 保護者の皆様へのお知らせ —

1 全国学力調査の結果

4月18日実施。実施項目は、3年生の国語・数学・英語（今年度）・生徒質問紙（アンケート）の4点でした。既に報道で見られた方もいらっしゃると思います。この取組の目的は、各学校が、各生徒の学力や学習状況を把握し、教育指導や学習状況の改善等に役立てるといったものです。ただし、これで分かるのは学力の一部であり、学校における教育活動の一側面であることをお断りして、結果についてお知らせしたいと思います。

	国語	数学	英語
全国平均	72.8	59.8	56.0
県平均	74	61	55



本校の点数については、それがひとり歩きしてもいけないと考えますので、文章でお知らせします。

国語は県平均とほぼ同じで、数学は全国平均を下回り、英語は県平均とほぼ同じです。選択問題は良いのですが、記述式問題は得点が低い傾向があります。

生徒質問紙では、以下のような傾向があります。

○肯定的なもの： 図書室へ行く回数。授業でICTを経験した回数。

▲やや否定的なもの：

自分には良いところがある。先生は授業やテストで間違えたところや理解していないところを分かるまで教えてくれる。将来の夢や目標を持っている。学校へ行くのが楽しい。

×かなり否定的なもの：

1日あたりの家庭学習時間の確保。1，2年時の授業への取り組み態度。地域行事等への積極的参加。表現活動への参加。学級会議による問題解決の経験。

本来の「学力」や今後の大学入試改革を考えたとき、学校の授業は変わらざるを得ません。課題を身近なものに設定したり、グループ討論させたり、説明をさせたり、レポートを書かせたり。記述（論述）問題を敬遠するようでは、学力向上は図れないのです。

しかし、討論したり説明したりレポートを作るわけですから、レベルとしてはやはり高くなります。大学でのゼミのような形式を、小学校や中学校で行うわけですから。するとそこには、あきらめる子どもが生じたり、お遊びになったりする危険性も出てきます。やはり授業では基礎基本を徹底し、分かる授業にしていく方向性もなければなりません。そうした2方向をめざしているのだと考えています。

学校で意識的に取り組んでいくこと

平川中学校では、図書室やICTを使った教育の推進が見て取れる。しかし、生徒の学習に対するモチベーションは低く、表現活動や話し合い活動による充実感の獲得までは至っていない。本校では今後、「生徒に寄り添う」「人間関係に細かい指導や支援を行う」「よく分かるという方向性の授業を目指す。」「書いたり説明したりする活動を仕組み、それに対してしっかりと力づけ、評価する。」といったことを生徒が実感できるよう実践していく。

2 前期学校評価アンケートの結果について

アンケートの設問と目につく傾向

- 1 学校生活を、安心して楽しく過ごしている。
- 2 火事・地震・津波・豪雨・不審者からの身の守り方が分かる。
- 3 先生は、分かりやすく楽しい授業で生徒の学力を高めようとしている。
- 4 家庭学習に計画的に取り組んでいる。
- 5 友人の人権を尊重した言動をとっている。
- 6 先生は、生徒の悩みや相談に耳を傾け相談にのっている。
- 7 教室や校内の環境整備や整理整頓を行い、清掃活動に一生懸命取り組んでいる。
- 8 服装や頭髪について、学校生活にふさわしい身なりを整えている。
- 9 いつも大きな明るいあいさつができています。
- 10 授業開始時刻や家庭での生活時間を守るなど、時間を意識した生活をしている。
- 11 体験活動や地域のボランティア活動に積極的に参加している。
- 12 規則正しい生活をし、心身の健康や体力の向上に心掛けている。
- 13 給食を好き嫌いなく食べ、健康な身体づくりに務めている。
- 14 なりたい職業や夢があり、目標をもって努力している。
- 15 学校から配付されたプリントなどを、家の人に確実に渡している。

1については90%以上が肯定的に回答している。（その点、全国学調の生徒質問紙の回答とはややかけ離れている。）保護者の回答も同様なので、非常に安心できる。

3についても90%近い生徒が肯定的に答えているが、6%（約30名）が否定的に答えているので、これを0名にしていく学校の工夫が必要である。また保護者の回答では、否定が13%と生徒よりも多い。

6について、80%の生徒は肯定的であるが、課題としては12%（約50名）の生徒が否定的にとらえている点である。10人に1人以上が、先生に対する信頼感を得ていないことにつながる。保護者の回答も生徒とほぼ同じである。

7と9と10とは「美礼時（ビレッジ）」を問うている設問である。生徒も保護者も「礼」

について一番不足（生徒は23%保護者は30%が否定的回答。）と回答しており、平川中学校の生徒指導的な課題として最初にあがるのは「あいさつ」であることが明確になっている。

11は、生徒と保護者とで回答が分かれている。生徒は否定的な回答が47%だが、保護者は5%。つまり、生徒は半数以上がそうでないと考えているが、保護者は9割近くがしているとお考えである。

14も気になる。全国学調の質問紙でもそうだったのだが、20%の生徒が夢や目標をもてていないという回答なのである。保護者ではさらに40%がもてていないとお考えである。

15では、生徒は20%がきちんとは渡していないと回答している。保護者の回答では7%のみが渡していないとの回答であるが、保護者の立場からすれば、渡されていないものは分からないのだから、ここに差が出て当然であろう。



学校で意識的に取り組んでいくこと

平川中学校では、生徒から信頼される教員をめざし、より生徒の声に耳を傾け、学力向上に努める姿勢が必要である。

また、キャリア教育に更に注力することと、家庭学習についての指導を工夫すること。生徒指導的には、あいさつ活動の活性化と配付物が家庭に届く指導が必要である。

保護者アンケートにおける自由記述から



- ・外掃除の男子が溝蓋を上げて奥の方まできれいにしている姿に感心する。
- ・子どものトラブル時に、親身になってくださる先生や公平に向き合ってください先生がおられ、安心できた。
- ・いじめ問題にもっと目を向けるべきだ。ニュースのように手遅れになったときに、学校はどうするのかとよく思う。
- ・体育祭や文化祭でもう少し生徒の意見を聞いてあげてほしい。また、こういうアンケートをとっても、少しも反映されないのであれば、無駄だと考える。

・大杉だよりは、先生方の思いが伝わってきて、毎回読み応えがある。これからも楽しみにしています。

- ・来校した際、どの先生のおさつも心地良さを感じる。見習います。
- ・子どもの主体的な学びを促す支援（振り返りの機会など）をお願いしたい。
- ・姉弟で生活の様子や思いが違うので、それぞれでアンケートをとった方がよい。

アンケートご協力のお礼

お忙しい中、真摯なお気持ちでのアンケート提出、誠にありがとうございました。おかげさまで、現在の平川中学校の課題が浮かび上がりました。

こうしたアンケートは、必ず具体的改善策を掲げ、課題解決に向けた取組をスピーディーに進めていかないと、価値がありません。

平川中学校教職員一同で共通理解をし、プロの仕事で生徒を育て、後期アンケートで少しでも数値が向上することを期待したいと考えます。

そうした営みが、よりよい平川中学校づくり、ひいてはよりよい地域づくりのお手伝いになると信じております。

後期アンケートもよろしく願いいたします。

山口市立平川中学校 校長 野村康次



よくがんばったね！